

## 第2章 計画策定の背景

### 1 少子化をめぐる状況

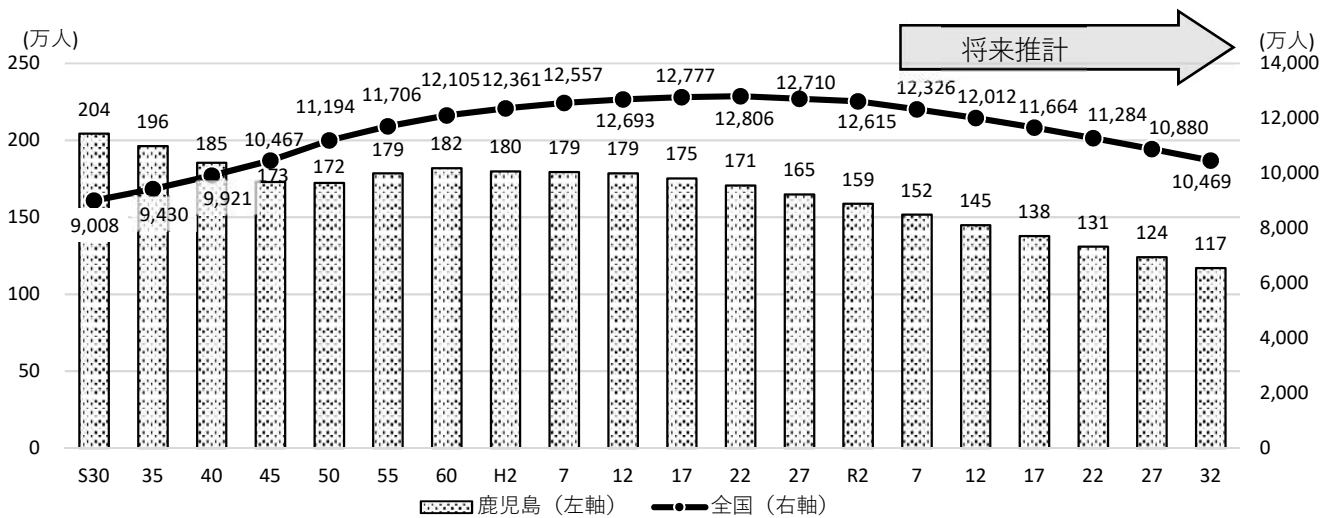
#### (1) 人口と人口構造の推移

##### ① 人口の推移と未来予測

我が国の人口は、2010（平成22）年は約1億2806万人でしたが、2015（平成27）年の国勢調査では1億2710万人と、同調査開始以来初めて人口が減少に転じる人口減少社会が到来しました。

本県においては、1955（昭和30）年の約204万人をピークに人口減少の局面に突入し、2020（令和2）年は約159万人と、ピーク時の約8割となっています。このまま少子化が進むと約30年後の2050（令和32）年には約117万人と、2020（令和2）年の約75%に減少するといわれています。

図表－1 総人口の推移及び将来推計



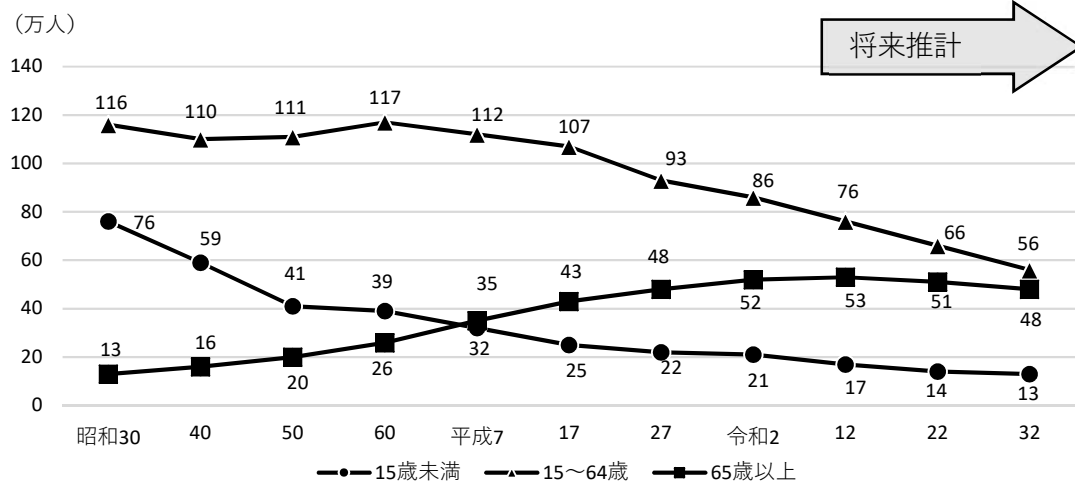
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

##### ② 県の年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口の年次推移をみると、15歳未満の年少人口は減少してきている一方で、65歳以上の老年人口は増加しており、2020（令和2）年の15歳未満の人口は約21万人（13.1%）、65歳以上の人口は約52万人（32.5%）となっています。

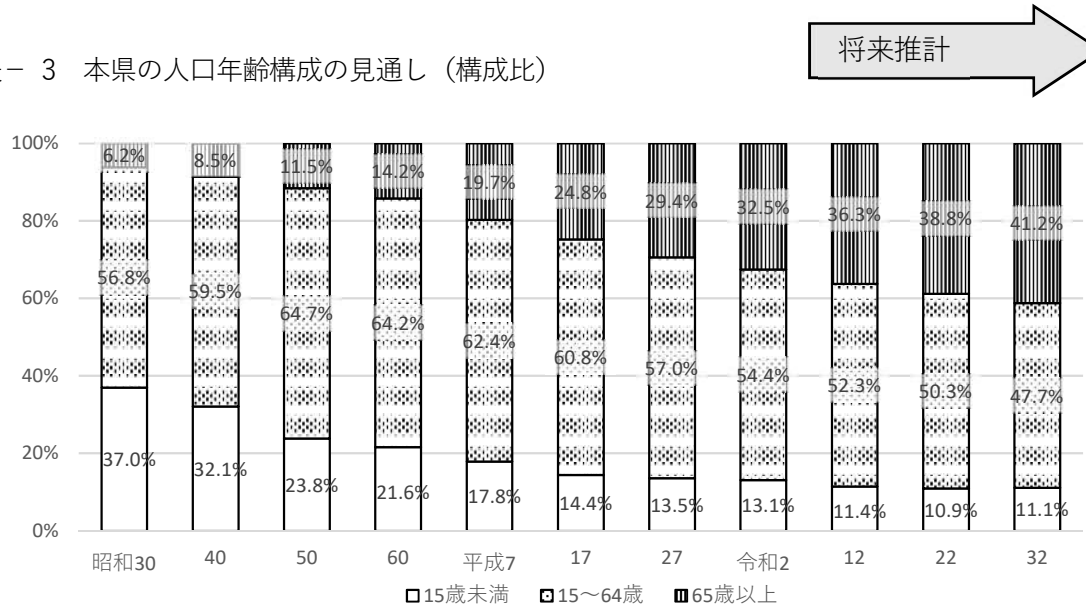
また、65歳以上の人口の総人口に占める割合（高齢化率）は、2020（令和2）年の32.5%（52万人）が30年後の2050（令和32）年には41.2%（48万人）になることが推測されています。この場合、高齢者1人に対する15～64歳（生産年齢人口）の人の比率は約1.65人から約1.17人に減少します。

図表-2 本県の人口年齢構成の見通し（人数）



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

図表-3 本県の人口年齢構成の見通し（構成比）

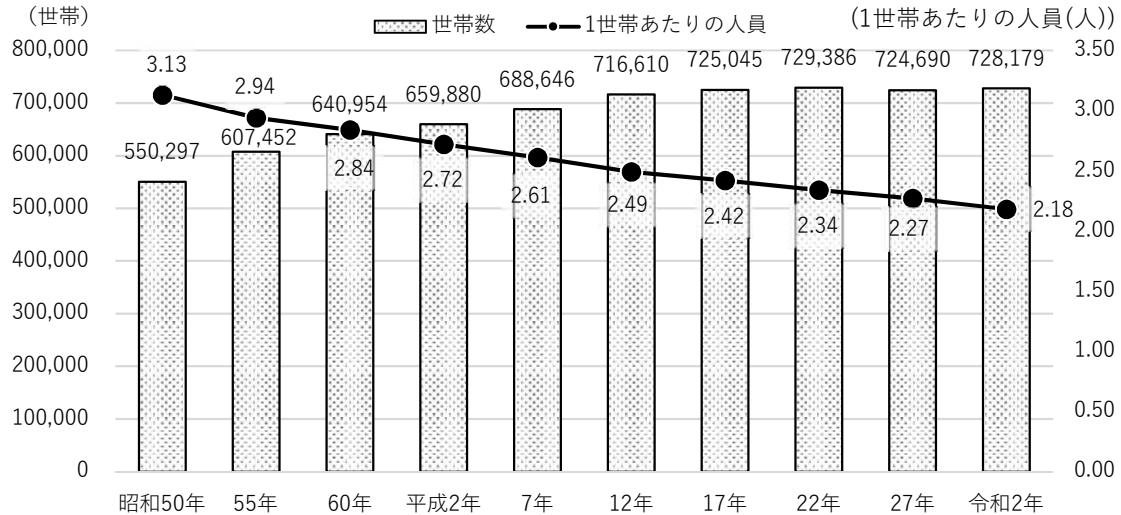


資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

### ③ 世帯数の推移

本県の2020（令和2）年の世帯数は約72万8千世帯で、1世帯あたりの人員は2.18人となっています。1975（昭和50）年と比較すると、世帯数は約17万8千世帯増加する一方、1世帯あたりの人員数は0.95人少なくなっています。

図表－4 本県の世帯数及び1世帯あたりの人員数



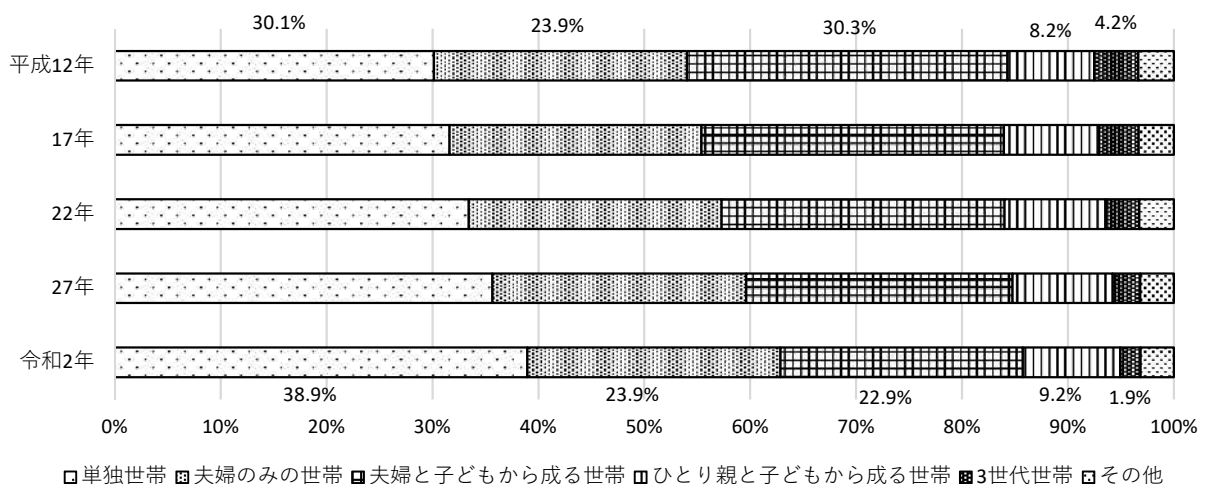
資料：総務省「国勢調査」

### ④ 世帯の構造

世帯類型別構成割合をみると、核家族世帯（「夫婦のみの世帯」＋「夫婦と子どもから成る世帯」＋「ひとり親と子どもから成る世帯」）は低下傾向にあり、2020（令和2）年は56.0%となっています。また、「3世代世帯」の割合も低下傾向にあり、2020（令和2）年は1.9%となっています。

一方、「単独世帯」は増加傾向にあり、2020（令和2）年は38.9%となっています。

図表－5 家族類型別割合



資料：総務省「国勢調査」

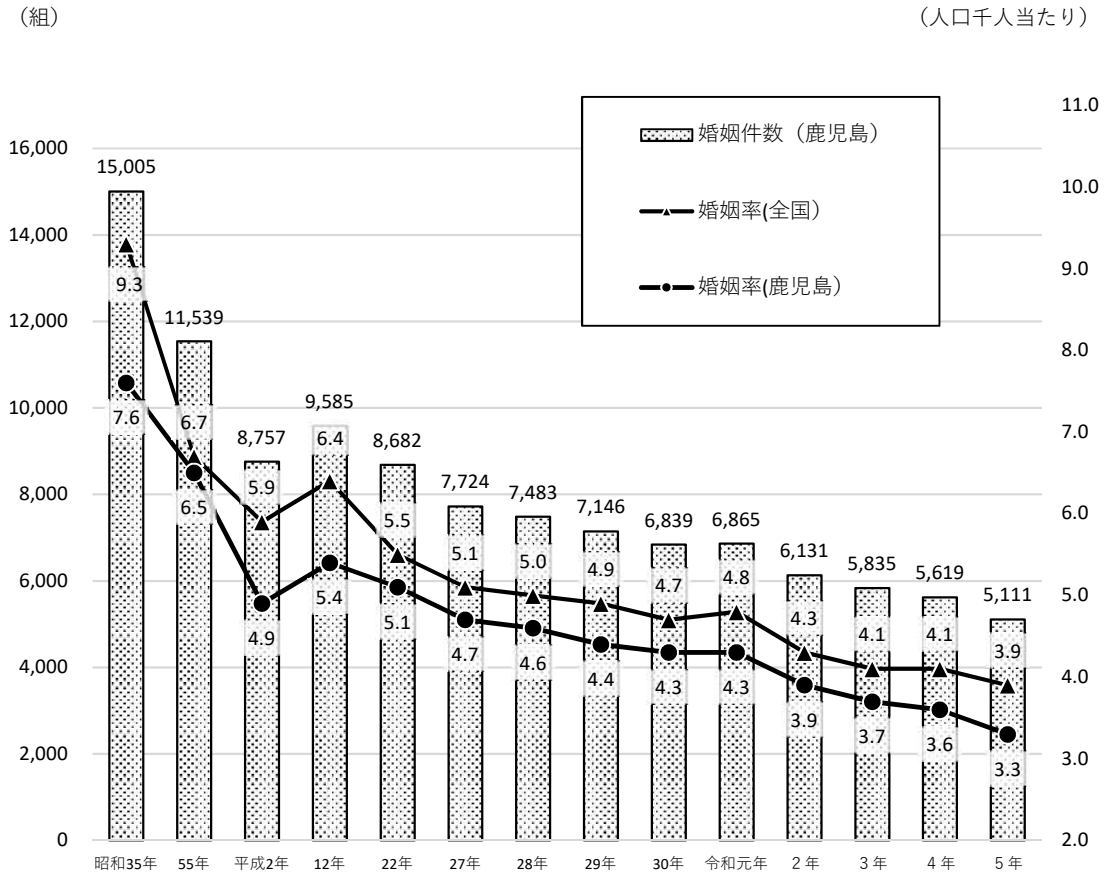
## (2) 婚姻の状況

## ① 婚姻件数等の推移

本県における婚姻件数は、1980（昭和 55）年頃まで年間 1 万組を超えており、婚姻率（人口千人当たりの婚姻件数）は 6.0 以上でした。その後、婚姻件数、婚姻率ともに低下傾向となり、2023（令和 5）年の婚姻件数は、過去最低の 5,111 組となっており、1980（昭和 55）年頃の 4 割程度の水準となっています。

また、婚姻率については、2023（令和 5）年に過去最低の 3.3 となっています。

図表－ 6 本県の婚姻件数及び婚姻率の推移



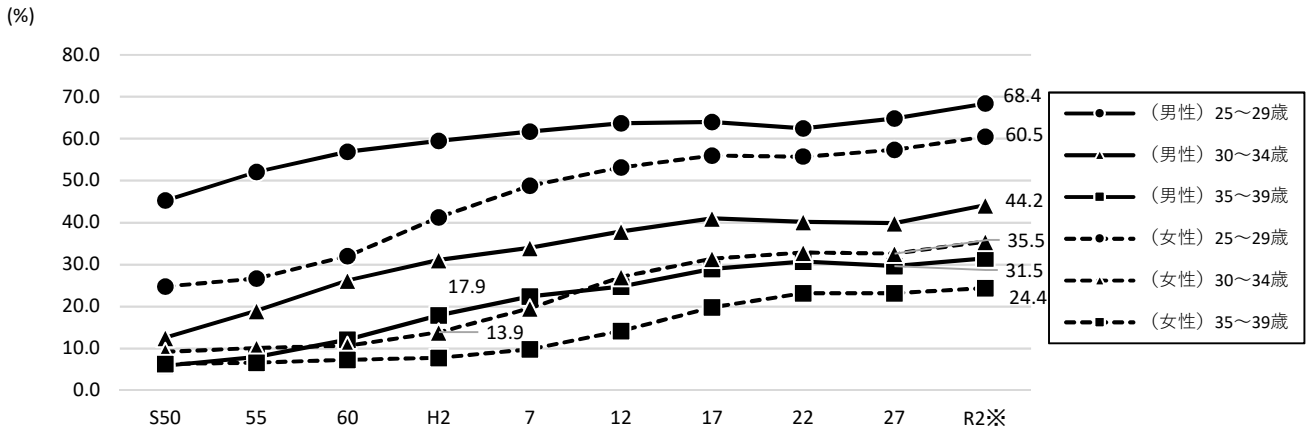
資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集 2024 年版（表 12-31 都道府県別婚姻数および率）」、厚生労働省「人口動態統計」

## ② 未婚化の進行

## ア 未婚率

本県の未婚率は、1975（昭和 50）年以降上昇が続いており、未婚化が進んでいます。年代別の未婚率を 2020（令和 2）年と 1990（平成 2）年を比較すると、男性では 35～39 歳、女性では 30～34 歳が最も未婚率が上昇しています。

図表- 7 本県の年代別未婚率



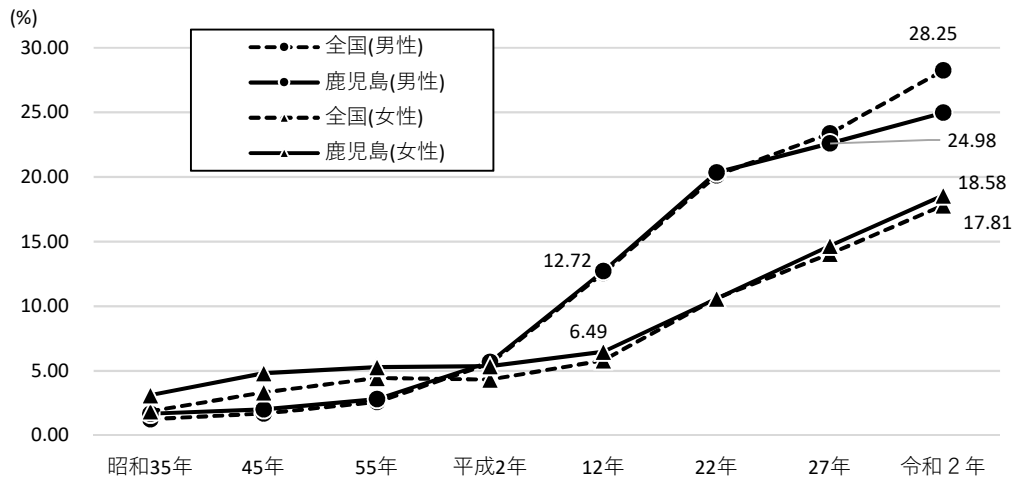
資料：総務省「国勢調査」※令和2年からは不詳補完値により算出

### イ 50歳時未婚率

本県の50歳時の未婚率をみると、男性は1990（平成2）年頃までは横ばいでしたが、それ以降大きく増加しており、2020（令和2）年には24.98%と2000（平成12）年の約2倍となっています。

女性は、2000（平成12）年頃まではおおむね横ばいでしたが、それ以降大きく増加しており、2020（令和2）年には18.58%と2000（平成12）年の約3倍となっています。

図表- 8 50歳時の未婚割合

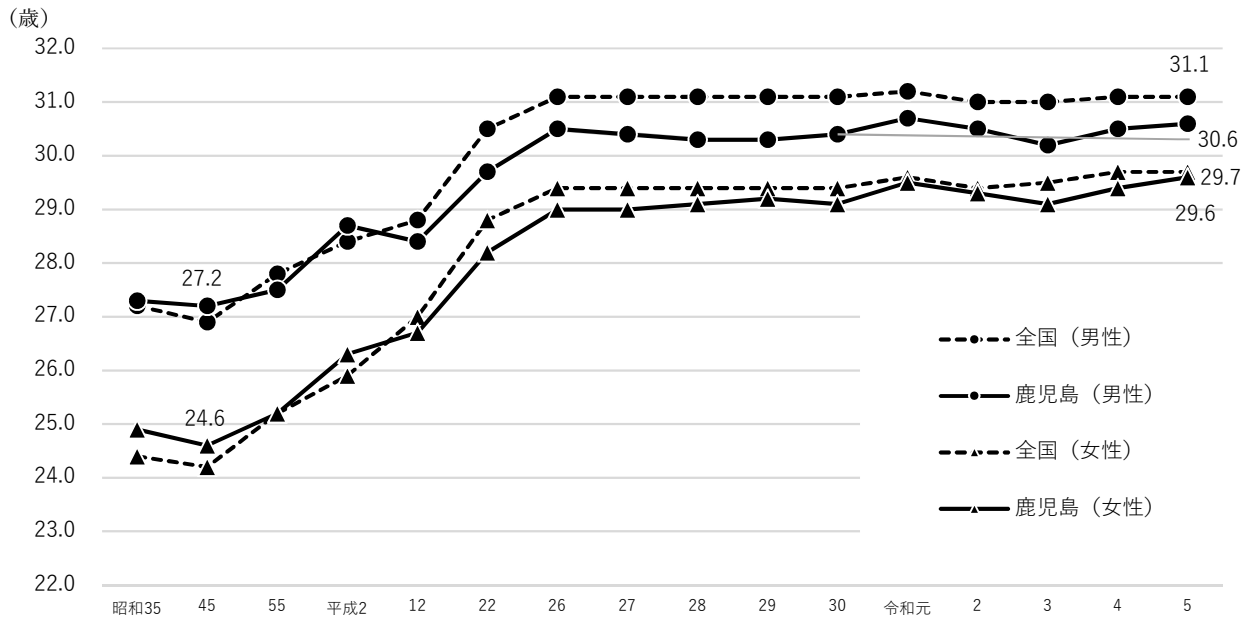


資料：国立社会保障・人口問題研究所 「人口統計資料集 2024年版（表12-37 都道府県、性別50歳時未婚割合）」

### ③ 晩婚化の進行

本県の平均初婚年齢は、2023（令和5）年で夫が30.6歳（全国31.1歳）、妻が29.6歳（全国29.7歳）となっており、全国平均と同様に上昇の傾向を示しており、晩婚化が進んでいます。1970（昭和45）年と比較すると男性は3.4歳、女性は5.0歳上昇しており、特に女性の上昇幅が大きくなっています。

図表- 9 平均初婚年齢



資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集 2024 年版（表 12-35 都道府県，性別平均初婚年齢）」，厚生労働省「人口動態統計」

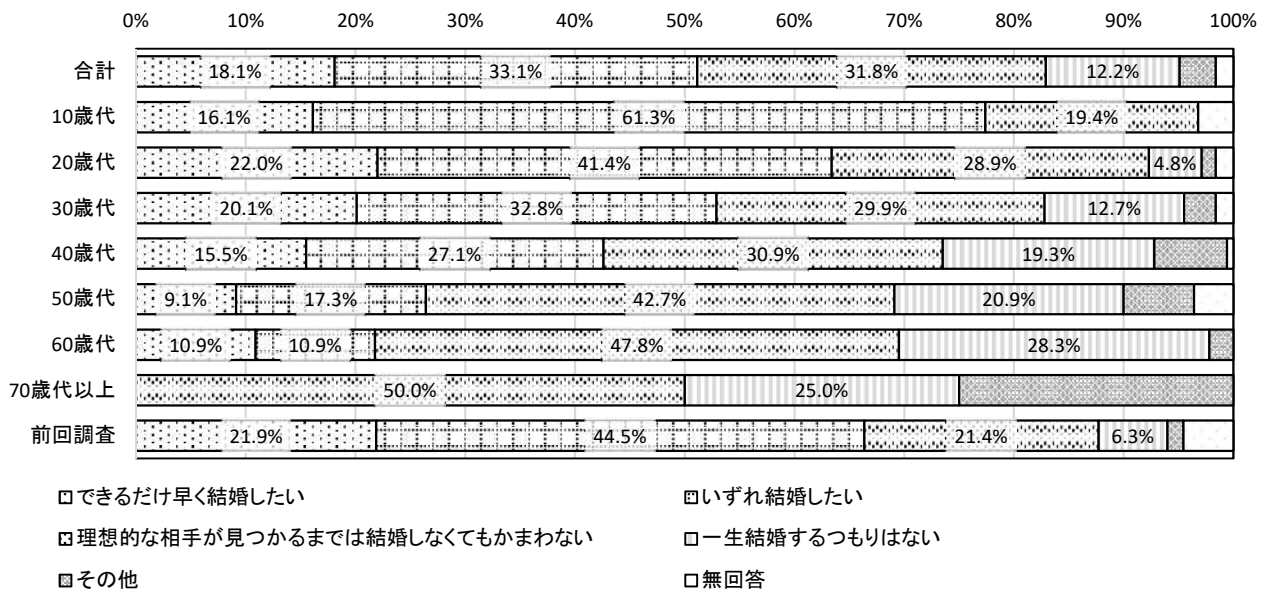
## ④ 結婚に関する県民の意識

## ア 結婚の意向

2023（令和5）年度に県が実施した「少子化等に関する県民意識調査」（以下「県民意識調査」という。）において、独身者に結婚の意向を尋ねると、「できるだけ早く結婚したい」（18.1％）と「いずれ結婚したい」（33.1％）を合わせると結婚したいと考える人の割合は、およそ5割であり、2018（平成30）年度に実施した前回調査時の66.4％と比べると減少しています。

また、「一生結婚するつもりはない」と回答した人は、12.2％であり、前回調査時の6.3％から5.9ポイント増加しています。

図表－10 県民意識調査結果（結婚の意向）

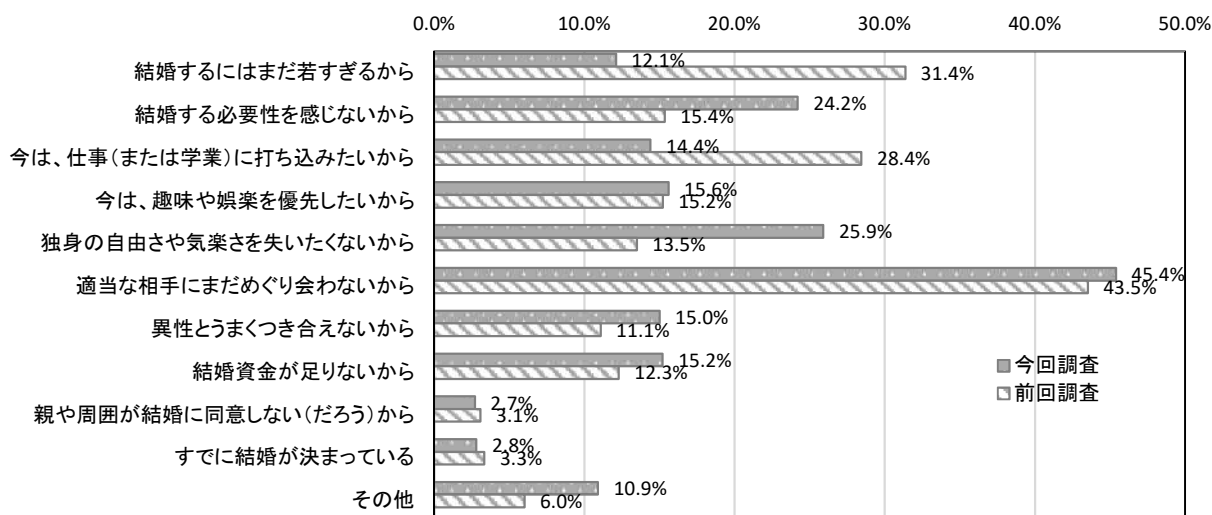


資料：県民意識調査（問26）

## イ 独身でいる理由

「県民意識調査」によると、「適当な相手にまだめぐりあわないから」（45.4％）で最も多く、次いで「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」（25.9％）、「結婚する必要性を感じないから」（24.2％）の順であり、前回調査時と比べると「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」と「結婚する必要性を感じないから」が増加しています。

図表- 11 県民意識調査結果（独身でいる理由）



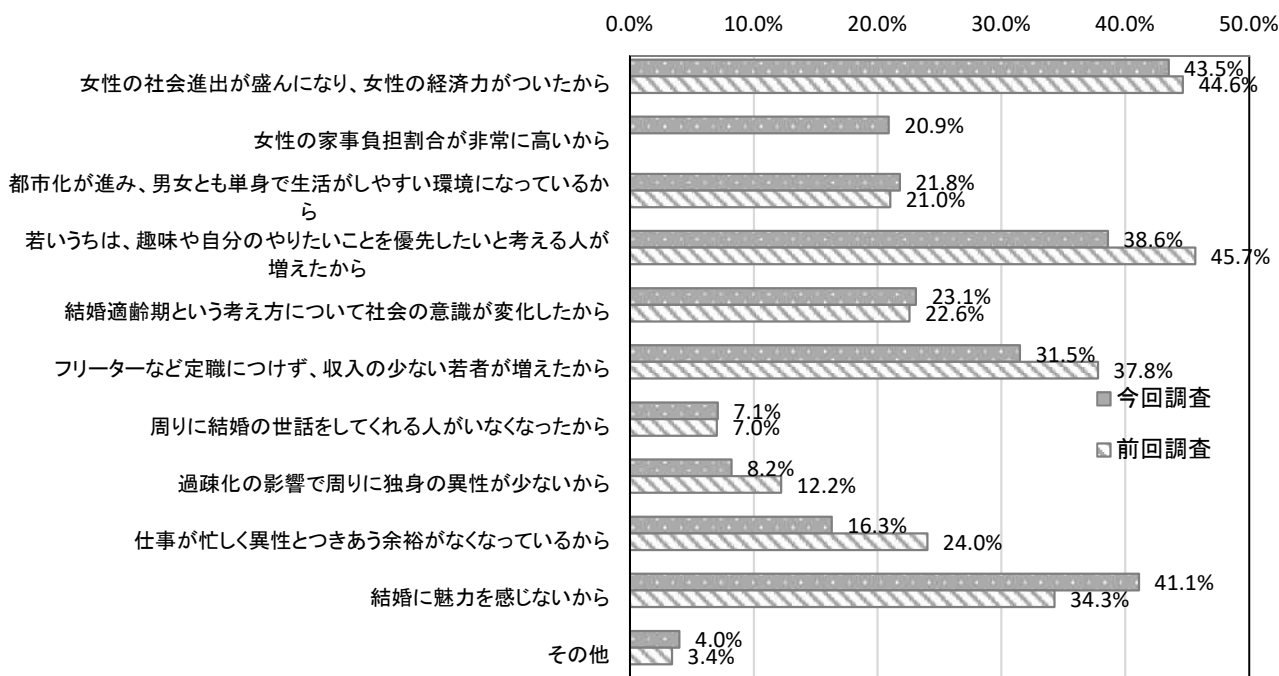
資料：県民意識調査（問12）

### ウ 未婚化と晩婚化の原因

「県民意識調査」によると、「女性の社会進出が盛んになり、女性の経済力がついたから」が43.5%で最も多く、次いで「結婚に魅力を感じないから」が41.1%、「若いうちは、趣味や自分のやりたいことを優先したいと考える人が増えたから」が38.6%となっています。

前回調査と比較すると、「結婚に魅力を感じないから」と回答した割合が6.8ポイント増加しています。

図表- 12 未婚化と晩婚化の原因



資料：県民意識調査（問65）

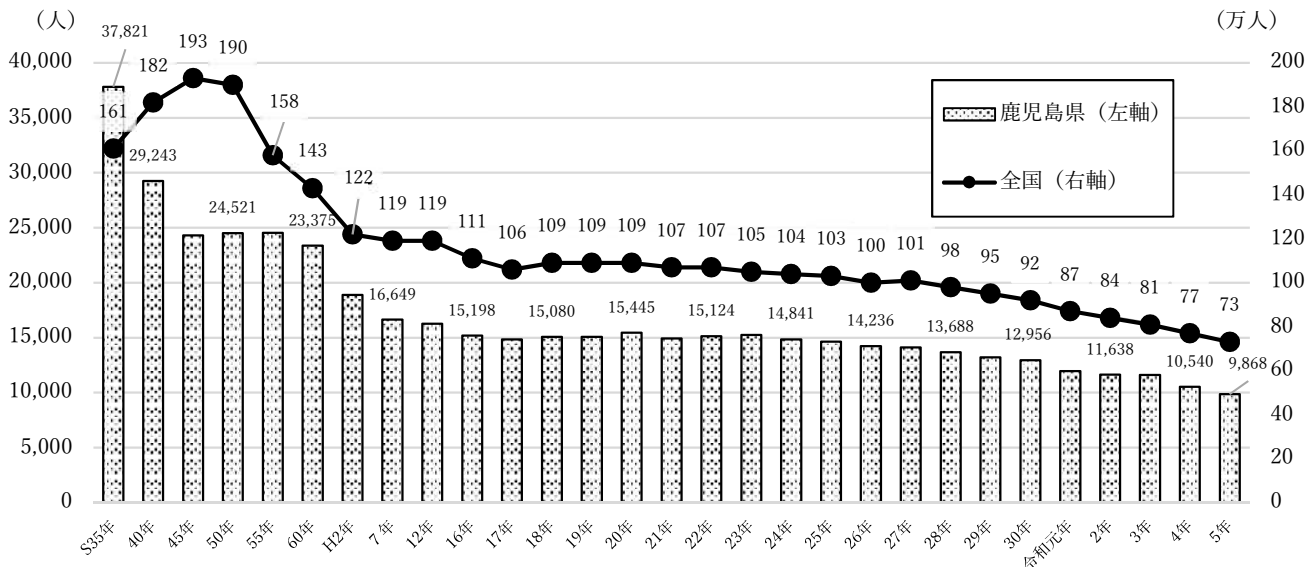
### (3) 子どもの数

#### ① 出生数

我が国の年間の出生数は、1970（昭和45）年は193万人でしたが、2016（平成28）年には100万人を割り込み、2023（令和5）年には約73万人となっています。

また、2023（令和5）年の本県の出生数は9,868人で1万人を下回り、1975（昭和50）年と比べて約4割、1960（昭和35）年と比べると約3割となっています。

図表- 13 出生数の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」

本県の出生数を市町村別にみると、2023（令和5）年に出生した9,868人のうち、約4割の4,085人が鹿児島市となっています。

1970（昭和45）年と2023（令和5）年と比較すると、県内全ての市町村で出生数が減少しており、鹿児島市、鹿屋市、霧島市、姶良市以外の39市町村では、出生数が1970（昭和45）年の半分以上となっています。

図表- 14 市町村別出生数の推移

| 市町村名    | 昭和45年(A) | 平成12年(B) | 令和4年(C) | 令和5年(D) | D/A   | D/B   | D/C    |
|---------|----------|----------|---------|---------|-------|-------|--------|
| 鹿児島市    | 7,564    | 5,735    | 4,425   | 4,085   | 54.0% | 71.2% | 92.3%  |
| 鹿屋市     | 1,375    | 1,097    | 790     | 788     | 57.3% | 71.8% | 99.7%  |
| 枕崎市     | 439      | 185      | 73      | 61      | 13.9% | 33.0% | 83.6%  |
| 阿久根市    | 425      | 209      | 91      | 87      | 20.5% | 41.6% | 95.6%  |
| 出水市     | 744      | 582      | 303     | 300     | 40.3% | 51.5% | 99.0%  |
| 指宿市     | 759      | 420      | 176     | 188     | 24.8% | 44.8% | 106.8% |
| 西之表市    | 456      | 189      | 65      | 76      | 16.7% | 40.2% | 116.9% |
| 垂水市     | 271      | 141      | 52      | 37      | 13.7% | 26.2% | 71.2%  |
| 薩摩川内市   | 1,365    | 1,045    | 640     | 655     | 48.0% | 62.7% | 102.3% |
| 日置市     | 619      | 392      | 284     | 261     | 42.2% | 66.6% | 91.9%  |
| 曾於市     | 641      | 334      | 153     | 159     | 24.8% | 47.6% | 103.9% |
| 霧島市     | 1,167    | 1,409    | 941     | 849     | 72.8% | 60.3% | 90.2%  |
| いちき串木野市 | 624      | 279      | 138     | 95      | 15.2% | 34.1% | 68.8%  |
| 南さつま市   | 616      | 277      | 153     | 156     | 25.3% | 56.3% | 102.0% |
| 志布志市    | 507      | 304      | 179     | 159     | 31.4% | 52.3% | 88.8%  |
| 奄美市     | 976      | 550      | 294     | 242     | 24.8% | 44.0% | 82.3%  |
| 南九州市    | 620      | 324      | 145     | 130     | 21.0% | 40.1% | 89.7%  |
| 伊佐市     | 479      | 248      | 119     | 104     | 21.7% | 41.9% | 87.4%  |
| 始良市     | 629      | 643      | 585     | 578     | 91.9% | 89.9% | 98.8%  |
| 三島村     | 13       | 5        | 1       | 3       | 23.1% | 60.0% | 300.0% |
| 十島村     | 11       | 6        | 2       | 4       | 36.4% | 66.7% | 200.0% |
| さつま町    | 389      | 192      | 72      | 63      | 16.2% | 32.8% | 87.5%  |
| 長島町     | 221      | 102      | 75      | 69      | 31.2% | 67.6% | 92.0%  |
| 湧水町     | 187      | 105      | 36      | 39      | 20.9% | 37.1% | 108.3% |
| 大崎町     | 224      | 106      | 56      | 53      | 23.7% | 50.0% | 94.6%  |
| 東串良町    | 104      | 56       | 36      | 34      | 32.7% | 60.7% | 94.4%  |
| 錦江町     | 203      | 81       | 26      | 24      | 11.8% | 29.6% | 92.3%  |
| 南大隅町    | 209      | 40       | 21      | 19      | 9.1%  | 47.5% | 90.5%  |
| 肝付町     | 307      | 165      | 69      | 66      | 21.5% | 40.0% | 95.7%  |
| 中種子町    | 209      | 96       | 46      | 27      | 12.9% | 28.1% | 58.7%  |
| 南種子町    | 152      | 61       | 33      | 19      | 12.5% | 31.1% | 57.6%  |
| 屋久島町    | 275      | 127      | 48      | 40      | 14.5% | 31.5% | 83.3%  |
| 大和村     | 50       | 16       | 4       | 7       | 14.0% | 43.8% | 175.0% |
| 宇検村     | 53       | 16       | 6       | 7       | 13.2% | 43.8% | 116.7% |
| 瀬戸内町    | 210      | 121      | 52      | 59      | 28.1% | 48.8% | 113.5% |
| 龍郷町     | 90       | 57       | 40      | 44      | 48.9% | 77.2% | 110.0% |
| 喜界町     | 199      | 88       | 30      | 32      | 16.1% | 36.4% | 106.7% |
| 徳之島町    | 273      | 129      | 96      | 87      | 31.9% | 67.4% | 90.6%  |
| 天城町     | 153      | 74       | 35      | 41      | 26.8% | 55.4% | 117.1% |
| 伊仙町     | 157      | 73       | 35      | 37      | 23.6% | 50.7% | 105.7% |
| 和泊町     | 100      | 83       | 49      | 22      | 22.0% | 26.5% | 44.9%  |
| 知名町     | 96       | 63       | 35      | 34      | 35.4% | 54.0% | 97.1%  |
| 与論町     | 130      | 47       | 31      | 28      | 21.5% | 59.6% | 90.3%  |
| 県計      | 24,291   | 16,272   | 10,540  | 9,868   | 40.6% | 60.6% | 93.6%  |

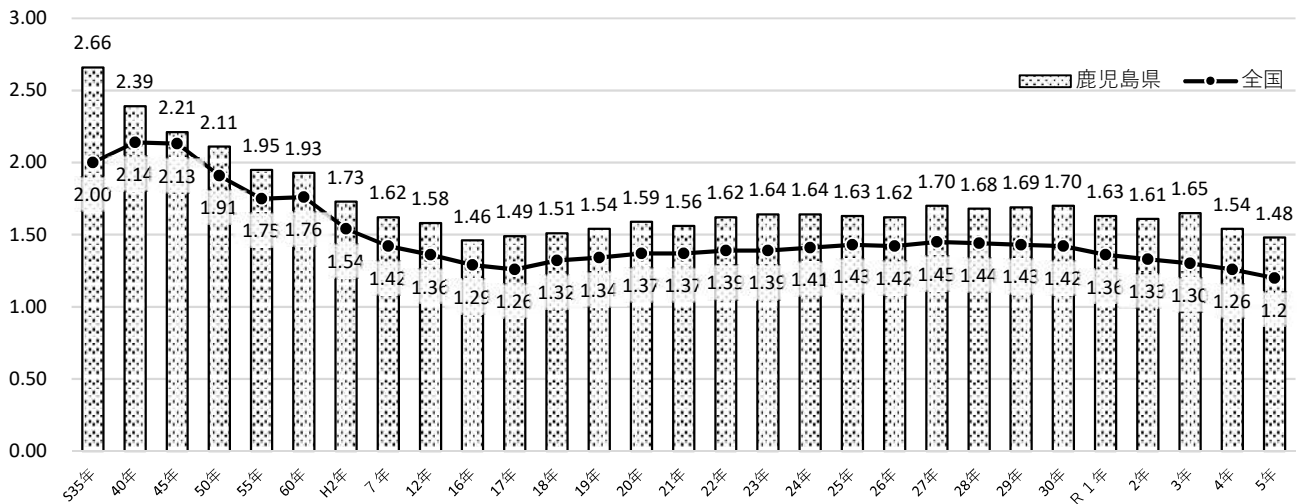
資料：厚生労働省「人口動態統計」

② 合計特殊出生率<sup>(注1)</sup>

我が国の合計特殊出生率は、1965（昭和40）年は2.14でしたが、1975（昭和50）年に2.00を下回って以降低下傾向となり、2023（令和5）年は過去最低である1.2となっています。

また、本県の合計特殊出生率は、1960（昭和35）年は2.66でしたが、その後、減少傾向となり、2004（平成16）年には過去最低である1.46まで落ち込みましたが、2023（令和5）年は1.48となっています。

図表- 15 合計特殊出生率の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」

## ③ 都道府県別合計特殊出生率の動向

2023（令和5）年の本県の合計特殊出生率が最も高いのは沖縄県（1.60）であり、次は宮崎県（1.49）、以下長崎県（1.49）、鹿児島県（1.48）となっていますが、いずれも人口維持に必要とされる2.07を大幅に下回っている状況となっています。

図表- 16 都道府県別合計特殊出生率

| 順位   | 令和2年       |             | 令和3年       |             | 令和4年       |             | 令和5年       |             |
|------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|
|      | 都道府県       | 率           | 都道府県       | 率           | 都道府県       | 率           | 都道府県       | 率           |
| 1    | 沖縄         | 1.83        | 沖縄         | 1.80        | 沖縄         | 1.70        | 沖縄         | 1.60        |
| 2    | 宮崎         | 1.65        | <b>鹿児島</b> | <b>1.65</b> | 宮崎         | 1.63        | 宮崎         | 1.49        |
| 3    | 長崎         | 1.61        | 宮崎         | 1.64        | 鳥取         | 1.60        | 長崎         | 1.49        |
| 4    | <b>鹿児島</b> | <b>1.61</b> | 島根         | 1.62        | 島根         | 1.57        | <b>鹿児島</b> | <b>1.48</b> |
| 5    | 熊本         | 1.60        | 長崎         | 1.60        | 長崎         | 1.57        | 熊本         | 1.47        |
| 6    | 島根         | 1.60        | 熊本         | 1.59        | <b>鹿児島</b> | <b>1.54</b> | 佐賀         | 1.46        |
| 全国平均 |            | 1.33        |            | 1.30        |            | 1.26        |            | 1.20        |

資料：厚生労働省「人口動態統計」

## ④ 市町村別合計特殊出生率

2018（平成30）年から2022（令和4）年までの市町村別合計特殊出生率の全国1位は徳之島町の

（注1）その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。（実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。）年間出生数の動向は、「合計特殊出生率」だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向にも影響を受ける。

2.25 となっています。また、全国2位は天城町(2.24)、4位は長島町(2.11)となっており、全国上位30位までに本県の8町が入っています。そのうち4町は奄美地域となっています。

図表- 17 市町村別合計特殊出生率

| 順位 | 市町村名 | 合計特殊出生率 | 全国順位 |
|----|------|---------|------|
| 1  | 徳之島町 | 2.25    | 1    |
| 2  | 天城町  | 2.24    | 2    |
| 3  | 長島町  | 2.11    | 4    |
| 4  | 南種子町 | 1.99    | 12   |
| 5  | 中種子町 | 1.99    | 15   |
| 6  | 伊仙町  | 1.98    | 16   |
| 7  | 湧水町  | 1.91    | 27   |
| 8  | 喜界町  | 1.89    | 30   |

資料：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」市町村別合計特殊出生率（平成30年～令和4年）

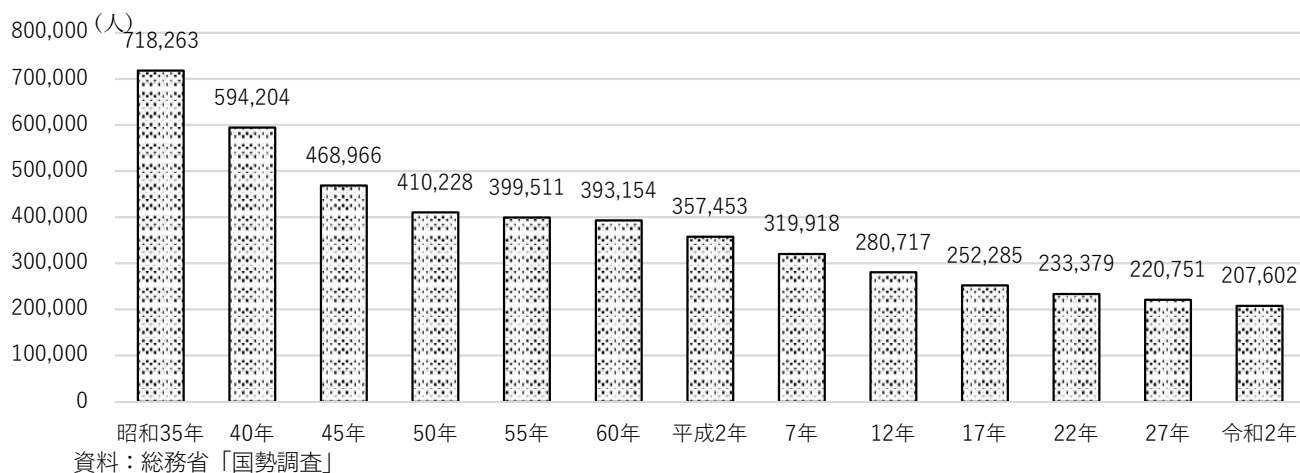
### ⑤ 県の15歳未満の人口の推移

15歳未満の人口の年次推移をみると、1960（昭和35）年には約72万人でしたが、2020（令和2）年は約21万人と、1960（昭和35）年の約3割となっています。

市町村別の15歳未満の人口の年次推移をみると、全ての市町村で減少しており、鹿児島市及び始良市を除く41市町村では、2020（令和2）年の15歳未満の人口が1960（昭和35）年の半分以下となっています。

また、2020（令和2）年と1985（昭和60）年を比較した場合でも、15歳未満の人口は十島村を除く42市町村で減少しており、31市町村では半分以下まで減少しています。

図表- 18 本県における15歳未満の人口の推移



図表- 19 市町村別 15 歳未満の人口の推移

|         | 昭和 35 年(人) (A) | 昭和 60 年(人) (B) | 平成 27 年(人) (C) | 令和 2 年(人) (D) | D/A | D/B  | D/C  |
|---------|----------------|----------------|----------------|---------------|-----|------|------|
| 鹿児島市    | 122,901        | 130,652        | 80,965         | 77,627        | 63% | 59%  | 96%  |
| 鹿屋市     | 40,714         | 23,185         | 15,792         | 15,177        | 37% | 65%  | 96%  |
| 枕崎市     | 11,687         | 6,458          | 2,397          | 2,031         | 17% | 31%  | 85%  |
| 阿久根市    | 14,120         | 5,654          | 2,278          | 1,982         | 14% | 35%  | 87%  |
| 出水市     | 24,345         | 12,808         | 7,518          | 6,902         | 28% | 54%  | 92%  |
| 指宿市     | 23,068         | 11,877         | 5,079          | 4,555         | 20% | 38%  | 90%  |
| 西之表市    | 13,372         | 5,320          | 2,116          | 1,820         | 14% | 34%  | 86%  |
| 垂水市     | 12,856         | 4,575          | 1,524          | 1,289         | 10% | 28%  | 85%  |
| 薩摩川内市   | 48,926         | 22,759         | 13,730         | 12,751        | 26% | 56%  | 93%  |
| 日置市     | 24,555         | 10,254         | 6,341          | 6,139         | 25% | 60%  | 97%  |
| 曾於市     | 26,516         | 9,423          | 4,063          | 3,654         | 14% | 39%  | 90%  |
| 霧島市     | 40,600         | 22,355         | 18,511         | 17,558        | 43% | 79%  | 95%  |
| いちき串木野市 | 15,444         | 8,357          | 3,606          | 3,172         | 21% | 38%  | 88%  |
| 南さつま市   | 28,369         | 8,915          | 3,902          | 3,704         | 13% | 42%  | 95%  |
| 志布志市    | 20,021         | 8,028          | 4,302          | 4,024         | 20% | 50%  | 94%  |
| 奄美市     | 22,304         | 15,885         | 6,260          | 5,688         | 26% | 36%  | 91%  |
| 南九州市    | 27,725         | 9,152          | 4,203          | 3,685         | 13% | 40%  | 88%  |
| 伊佐市     | 21,048         | 7,073          | 2,974          | 2,755         | 13% | 39%  | 93%  |
| 姶良市     | 19,781         | 14,872         | 10,777         | 10,996        | 56% | 74%  | 102% |
| 三島村     | 562            | 102            | 81             | 95            | 17% | 93%  | 117% |
| 十島村     | 1,142          | 120            | 131            | 143           | 13% | 119% | 109% |
| さつま町    | 16,267         | 5,508          | 2,592          | 2,199         | 14% | 40%  | 85%  |
| 長島町     | 8,807          | 3,362          | 1,475          | 1,384         | 16% | 41%  | 94%  |
| 湧水町     | 8,138          | 2,550          | 1,098          | 890           | 11% | 35%  | 81%  |
| 大崎町     | 9,388          | 3,728          | 1,514          | 1,417         | 15% | 38%  | 94%  |
| 東串良町    | 4,076          | 1,580          | 871            | 878           | 22% | 56%  | 101% |
| 錦江町     | 8,971          | 2,388          | 817            | 699           | 8%  | 29%  | 86%  |
| 南大隅町    | 9,709          | 2,468          | 713            | 583           | 6%  | 24%  | 82%  |
| 肝付町     | 12,542         | 4,487          | 1,760          | 1,654         | 13% | 37%  | 94%  |
| 中種子町    | 7,867          | 2,404          | 1,056          | 952           | 12% | 40%  | 90%  |
| 南種子町    | 5,382          | 1,820          | 766            | 725           | 13% | 40%  | 95%  |
| 屋久島町    | 10,175         | 3,495          | 1,891          | 1,607         | 16% | 46%  | 85%  |
| 大和村     | 2,057          | 544            | 175            | 141           | 7%  | 26%  | 81%  |
| 宇検村     | 2,379          | 468            | 201            | 203           | 9%  | 43%  | 101% |
| 瀬戸内町    | 9,788          | 2,749          | 1,093          | 1,043         | 11% | 38%  | 95%  |
| 龍郷町     | 3,266          | 1,373          | 929            | 918           | 28% | 67%  | 99%  |
| 喜界町     | 5,551          | 2,322          | 908            | 824           | 15% | 35%  | 91%  |
| 徳之島町    | 8,121          | 3,865          | 1,772          | 1,533         | 19% | 40%  | 87%  |
| 天城町     | 5,623          | 2,057          | 858            | 769           | 14% | 37%  | 90%  |
| 伊仙町     | 6,893          | 2,291          | 965            | 985           | 14% | 43%  | 102% |
| 和泊町     | 4,905          | 1,984          | 1,054          | 904           | 18% | 46%  | 86%  |
| 知名町     | 5,247          | 1,920          | 923            | 800           | 15% | 42%  | 87%  |
| 与論町     | 3,055          | 1,967          | 770            | 747           | 24% | 38%  | 97%  |
| 県計      | 718,263        | 393,154        | 220,751        | 207,602       | 29% | 53%  | 94%  |

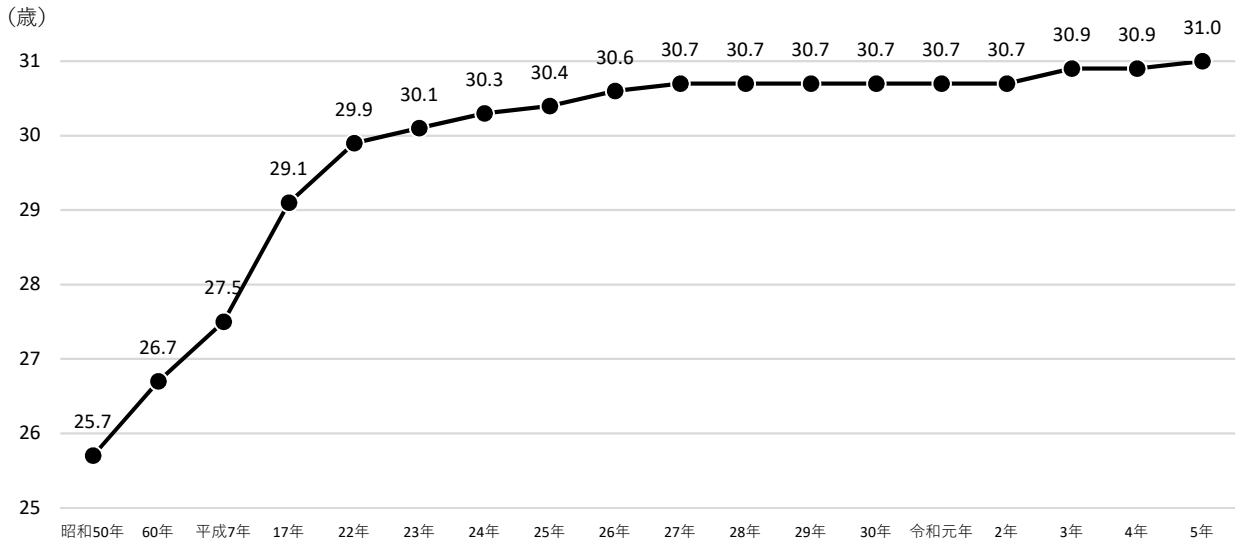
資料：総務省「国勢調査」

## ⑥ 晩産化の進行

### ア 第1子出生時の母の年齢

我が国の第1子出生時の母の年齢をみると、1975（昭和50）年は25.7歳でしたが、1995（平成7）年は27.5歳、2023（令和5）年は31.0歳と晩産化が進行しています。

図表- 20 第1子出生時の母の平均年齢の年次推移

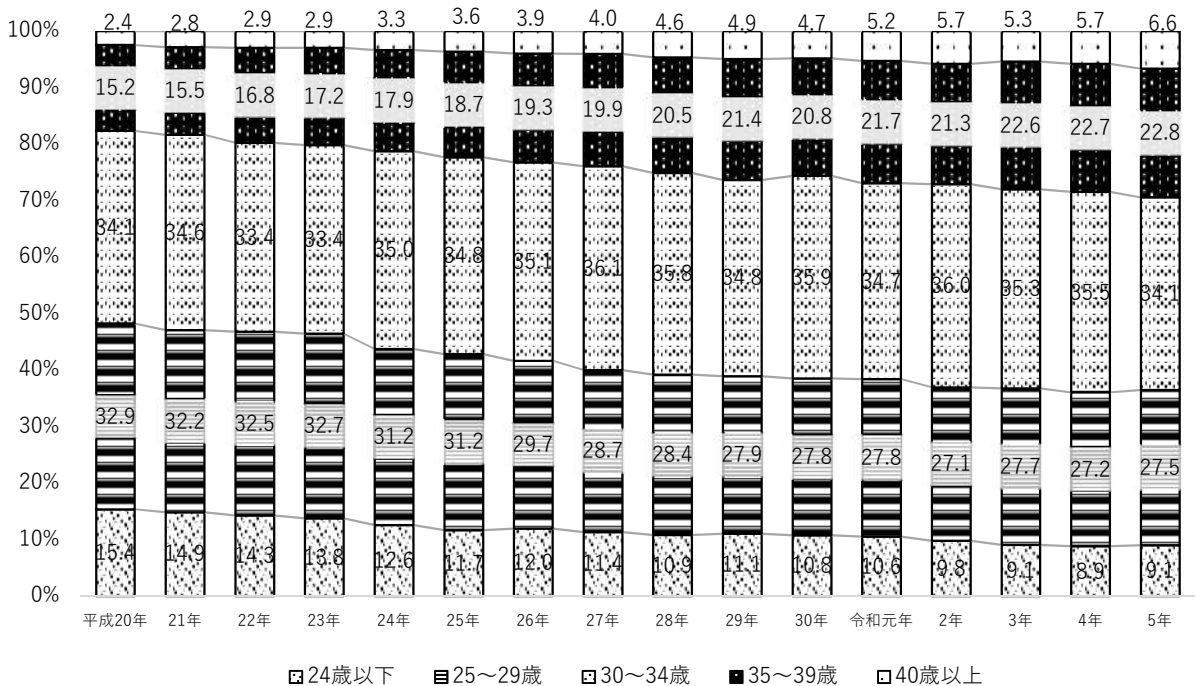


資料：厚生労働省「人口動態統計」

### イ 母の年齢階級別出生割合

本県の母の年齢階級別出生割合をみると、母親の年齢が29歳以下は減少傾向、30歳以上は増加傾向にあります。特に、2008（平成20）年の母親の年齢が35～39歳の割合は15.2%でしたが、2023（令和5）年は22.8%に増加しています。母親の年齢が40歳以上の割合も、2008（平成20）年は2.4%でしたが、2023（令和5）年は6.6%に増加しています。

図表- 21 本県における母の年齢階級別出生割合

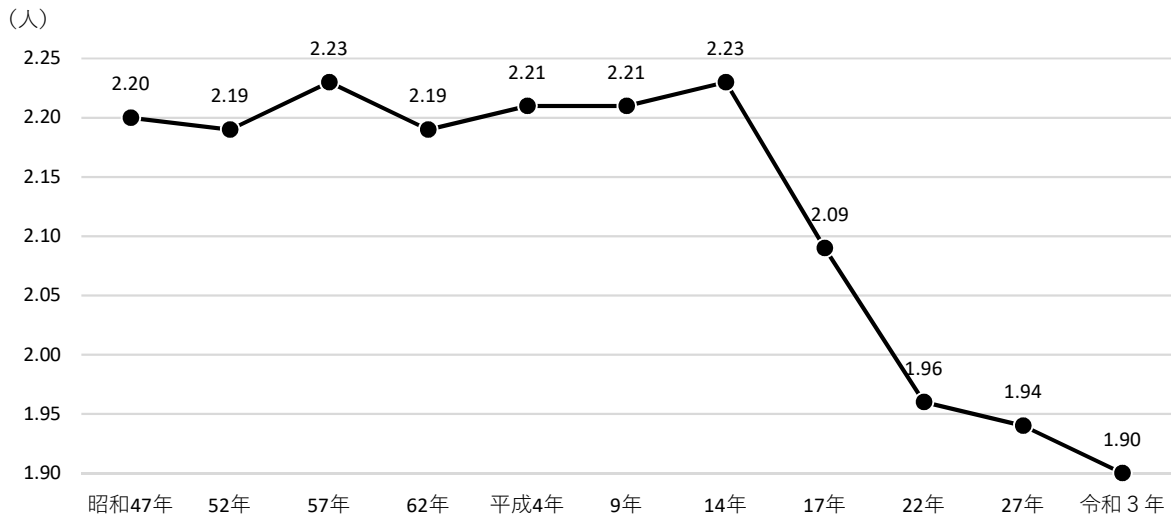


資料：鹿児島県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

### ⑦ 完結出生児数<sup>(注2)</sup>

我が国の夫婦の完結出生児数をみると、1972（昭和47）年から2002（平成14）年まで2.2人前後で安定的に推移していましたが、2005（平成17）年から減少傾向となり、2021（令和3）年には1.90と、過去最低となっています。

図表－22 完結出生児数の推移



資料：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査（夫婦調査）」（2021年）

注：対象は結婚持続期間15～19年の初婚どうしの夫婦。第15回以前は妻の調査時年齢50歳未満、第16回は妻が50歳未満で結婚し、妻の調査時年齢55歳未満の夫婦について集計。出生子ども数負傷を除き、8人以上を8人として平均値を算出。第16回（2021）について、前回までと同様に妻の年齢50歳未満（結婚年齢35歳未満）で集計した場合は、1.99。ここには妻が30～34歳で結婚した一部と35歳以上で結婚した夫婦が含まれない。

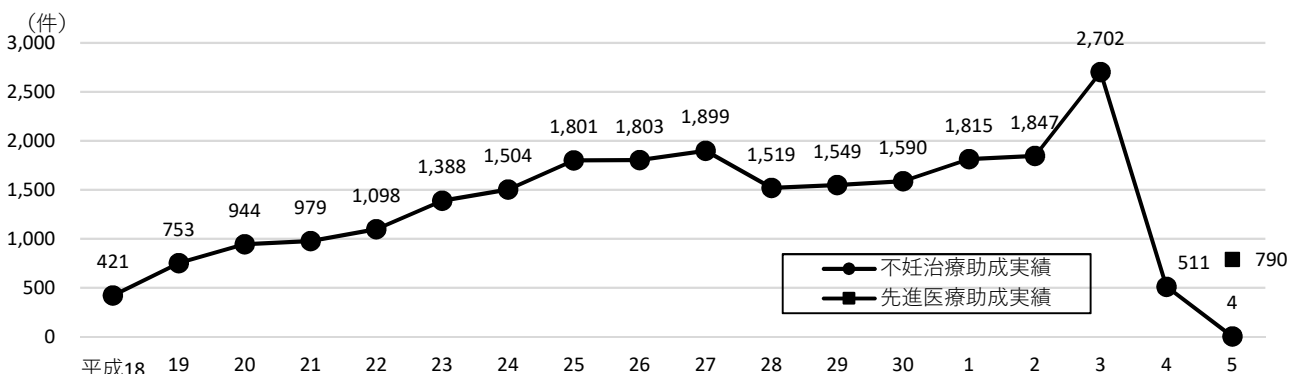
### ⑧ 不妊治療

本県における不妊治療助成実績をみると、2006（平成18）年は421件でしたが、その後増加し、2021（令和3）年度には2,702件となっています。

不妊治療については、令和4年度から基本的な治療が保険適用となったことに伴い、国庫補助事業が廃止され、先進医療が全額自己負担となりました。

このため、県では、国が告示している先進医療について、令和5年度から助成事業を行っています。

図表－23 不妊治療助成実績（H18～R5）及び先進医療助成実績（R5～）



資料：県子育て支援課調べ

（注2）結婚持続期間（結婚からの経過期間）15～19年夫婦の平均出生子ども数であり、夫婦の最終的な平均出生子ども数

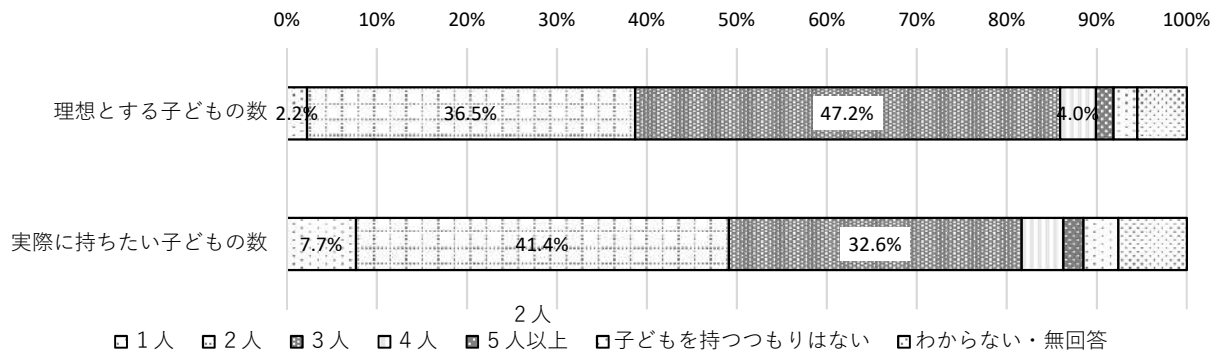
## ⑨ 子どもを持つことに関する県民の意識

## ア 理想とする子どもの数と実際に持ちたい子どもの数

「県民意識調査」によると、「理想の子どもの数」は「3人」が47.2%と最も多く、「2人」(36.5%),「4人」(4.0%)の順となっています。

また、「実際に持ちたい子どもの数」は、「2人」が41.4%と最も多く、「3人」(32.6%),「1人」(7.7%)となっており、理想より実際に持ちたい子どもの数が少なくなっています。

図表- 24 県民意識調査結果（理想とする子どもの数と実際に持ちたい子どもの数の割合）



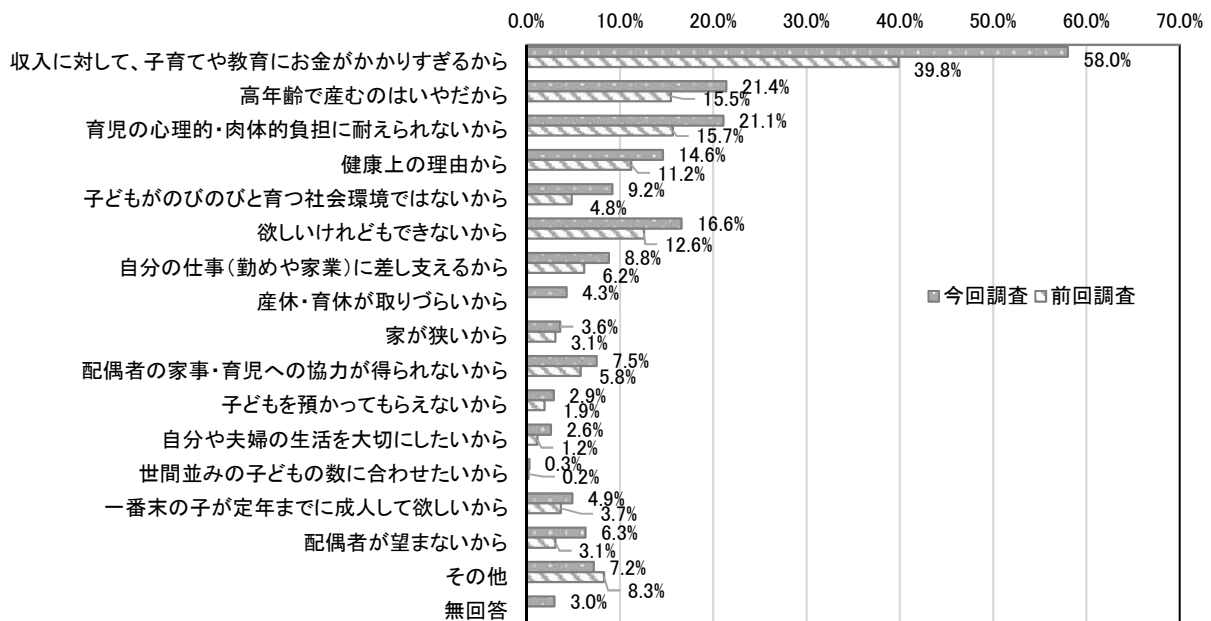
資料：県民意識調査（問60，問63）

## イ 実際に持ちたい子どもの数が少ない理由

「県民意識調査」によると、理想より実際に持ちたい子どもの数が少ない理由として、「収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(58.0%)が最も多く、次いで、「高年齢で産むのはいやだから」(21.4%),「育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」(21.1%)となっています。

前回調査と比較すると、「収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の割合が18.2ポイント高くなっています。

図表- 25 県民意識調査結果（実際に持ちたい子どもの数が少ない理由）



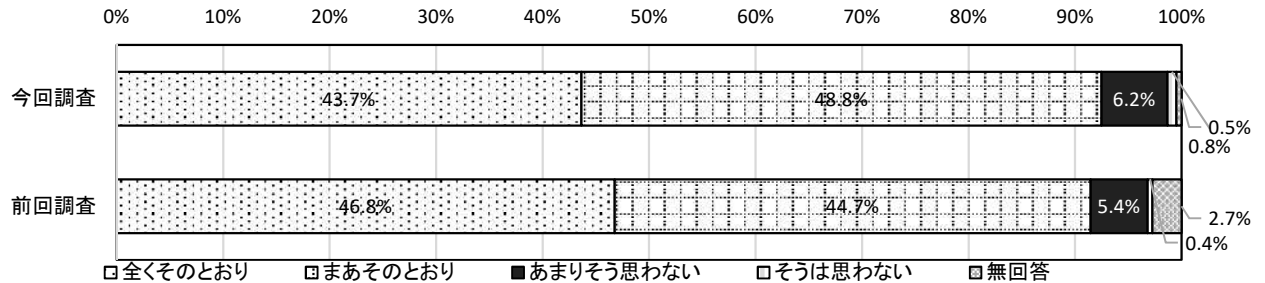
資料：県民意識調査（問64）

## ⑩ 子育てをして感じたこと

## ア 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う

「県民意識調査」によると、「全くそのとおり」が43.7%、「まあそのとおり」が48.8%、「あまりそう思わない」が6.2%となっています。前回調査と比較すると、「そのとおり（「全くそのとおり」＋「まあそのとおり」）」と回答した割合は1.0ポイント増加しています。

図表－ 26 県民意識調査結果（子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う）

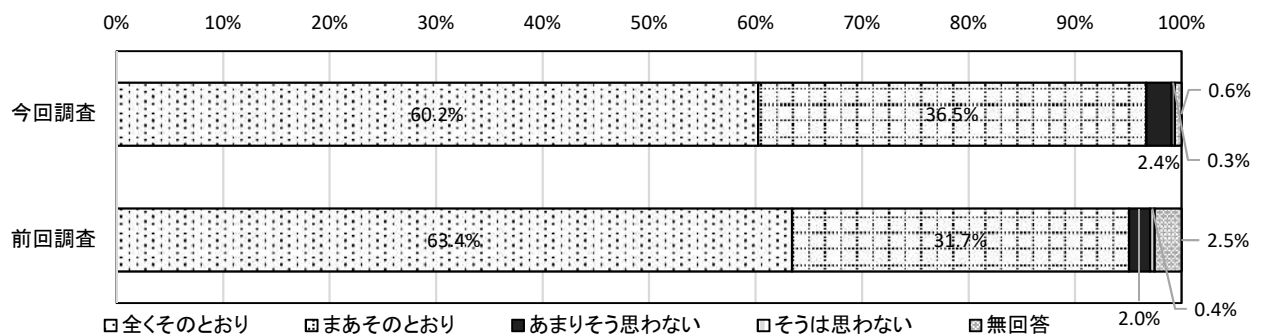


資料：県民意識調査（問33）

## イ 子どもがかわいくてたまらない

「県民意識調査」によると、「全くそのとおり」が60.2%、「まあそのとおり」が36.5%となっています。前回調査と比較すると、「そのとおり（「全くそのとおり」＋「まあそのとおり」）」と回答した割合は1.6ポイント増加しています。

図表－ 27 県民意識調査結果（子どもがかわいくてたまらない）



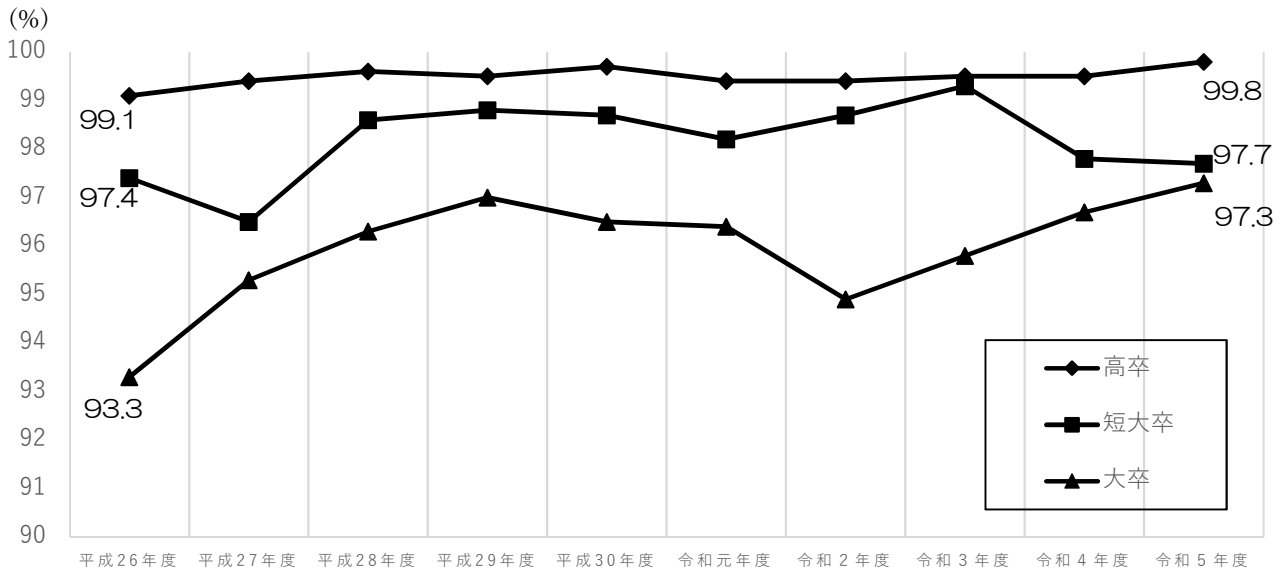
資料：県民意識調査（問33）

#### (4) 就労

##### ① 就職内定率等

本県の2023（令和5）年度の新卒者の就職内定率は、大卒97.3%、短大卒97.7%、高卒99.8%となっており、近年は高い水準で推移しています。

図表- 28 本県の大学・短大・高校新卒者の就職内定率



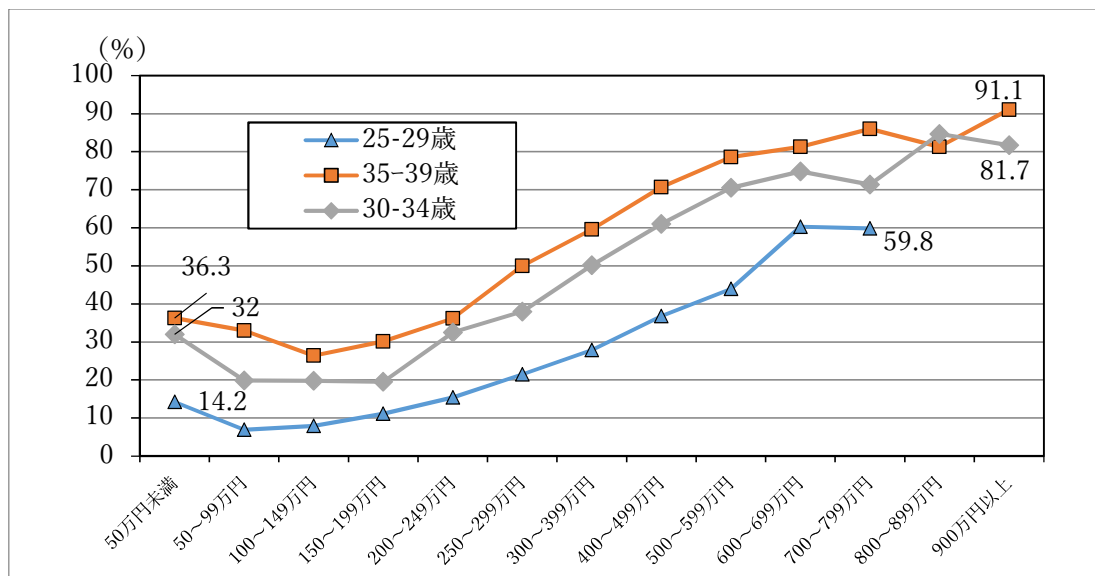
資料：鹿児島労働局報道発表資料「令和6年3月新規大学等卒業予定者職業紹介状況」、「令和6年3月新規高等学校卒業生職業紹介状況」より作成

##### ② 年収別有配偶率

###### ア 男性の年収別有配偶率

我が国の男性の年収別有配偶率（2017年時点）をみると、いずれの年齢層でも年収が高い人ほど配偶者のいる割合が高い傾向にあります。

図表- 29 男性の年収別有配偶率



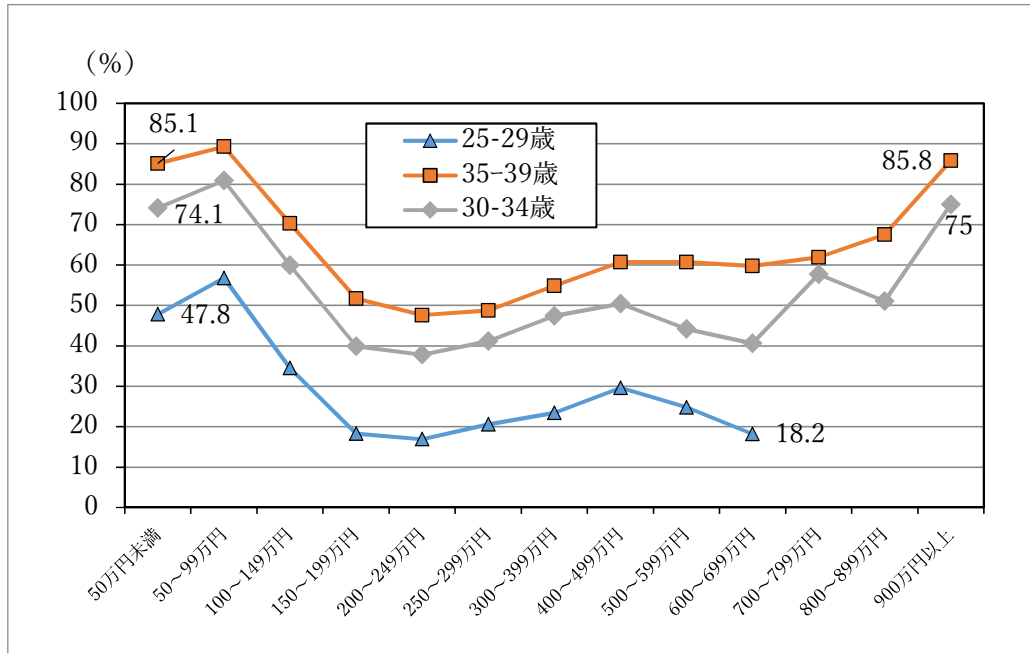
資料：労働政策研究・研修機構「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③—平成29年版「就業構造基本調査」より—」（2019年）を基に内閣府男女共同参画局作成

注：25歳～29歳の800万～899万、900万以上については、サンプル数が少ないため、グラフ上省略している。

## イ 女性の年収別有配偶率

我が国の女性の年収別有配偶率（2017 年時点）をみると、配偶者のいる割合は、年収が低い層と高い層の両方が高い傾向にあります。

図表－ 30 女性の年収別有配偶率



資料：労働政策研究・研修機構「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③—平成 29 年版「就業構造基本調査」より—」（2019 年）を基に作成

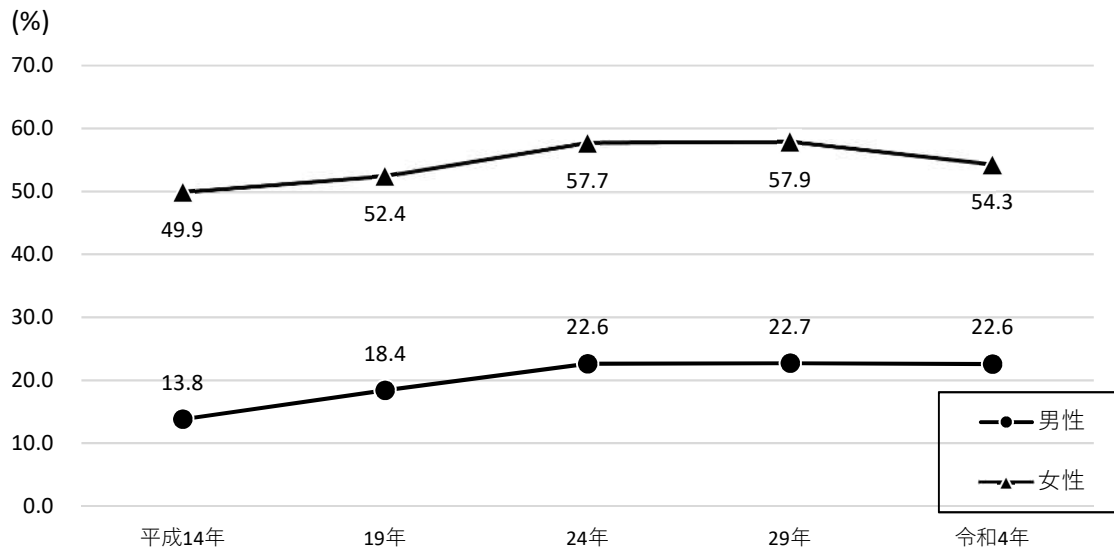
注：25 歳～29 歳の 700 万円以上の集計区分については、グラフ上省略している。

### ③ 非正規労働者の状況

#### ア 非正規の職員・従業員の割合

本県の雇用者（役員を除く）のうち非正規雇用者（パート、アルバイト、派遣社員、契約社員等）の割合は、男女ともに増加しておりましたが、2022（令和4）年は、2017（平成29）年より減少し、女性は54.3%、男性は22.6%となっています。

図表－ 31 男女別雇用者（役員を除く）に占める非正規の職員・従業員の割合の推移

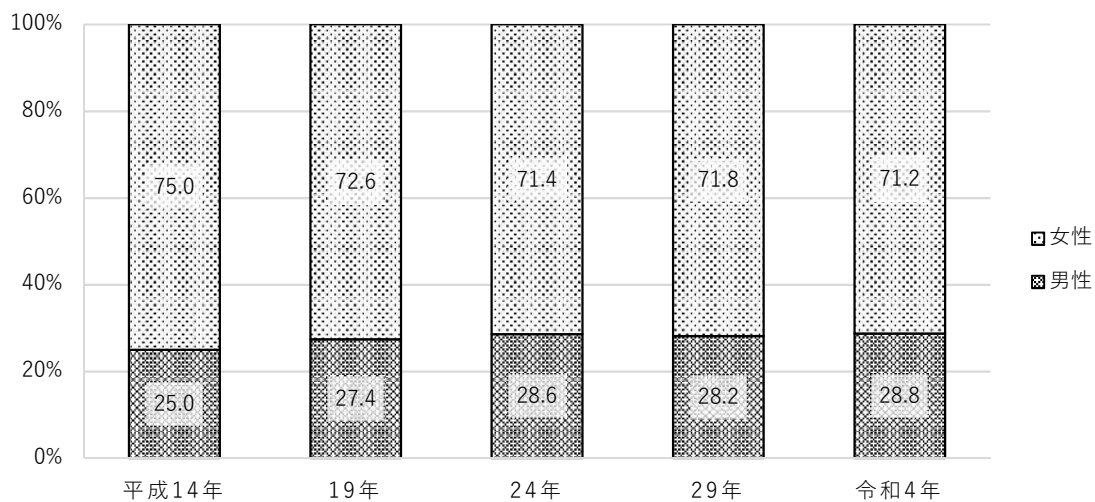


資料：総務省「就業構造基本調査」

#### イ 非正規雇用者の男女別割合

本県の非正規雇用者を男女別にみると、2022（令和4）年は男性28.8%、女性71.2%と女性の占める割合が非常に多くなっています。

図表－ 32 非正規労働者の状況（男女別）

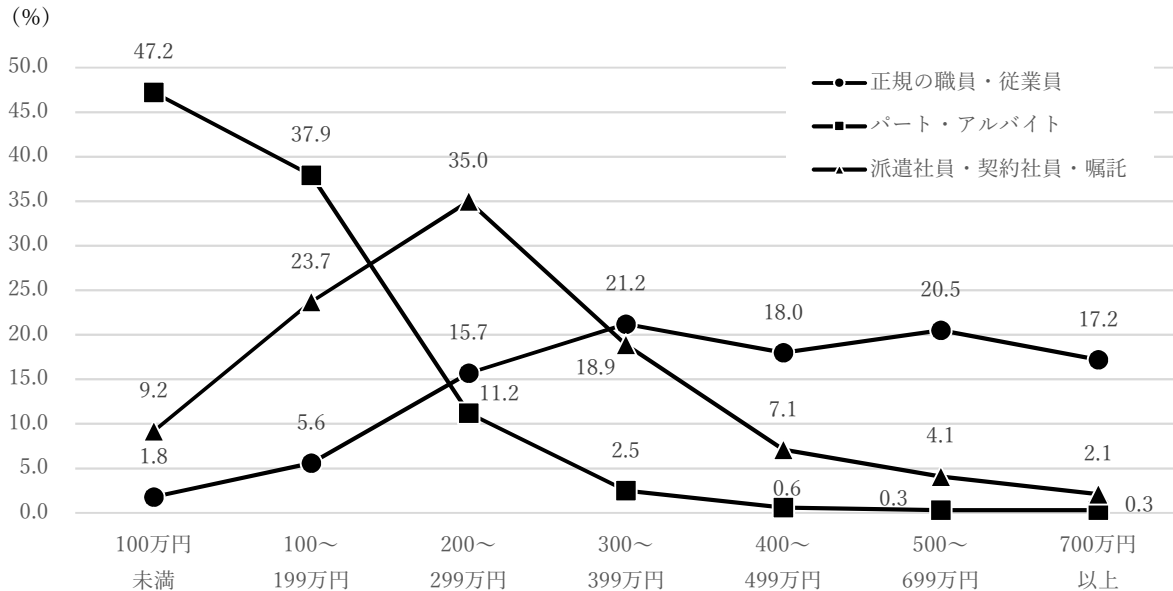


資料：総務省「就業構造基本調査」

### ウ 非正規の職員・従業員の年収

我が国の労働者の年収をみると、正規の職員・従業員は300万円未満が23.1%であるのに対し、パート・アルバイトは300万円未満が96.3%で、このうち100万円未満が47.2%となっています。派遣社員・契約社員・嘱託は300万円未満が67.9%です。

図表－ 33 就業形態別の年収分布（全国）

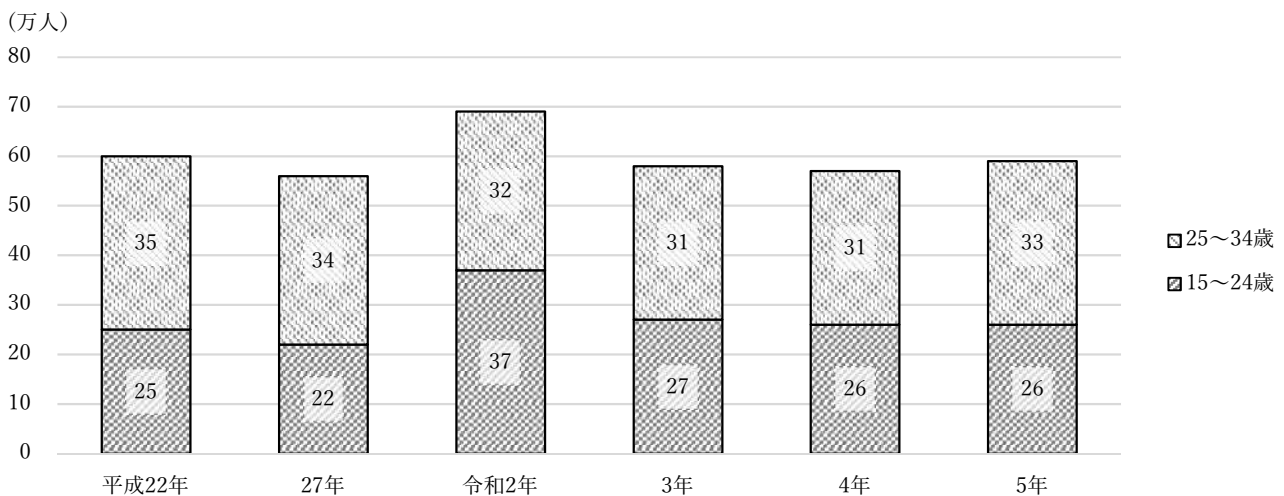


資料：総務省「労働力調査（詳細集計） 2023年（令和5年）平均結果」

### エ 若年無業者<sup>(注3)</sup>

我が国の若年無業者の数は、2010（平成22）年以降、おおむね横ばいで推移しています。2023（令和5）年は59万人で、前年より2万人増加しています。

図表－ 34 若年無業者の推移



資料：総務省「労働力調査（基本集計）」

(注3) 15～34歳の非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者

## (5) 仕事と育児の両立

## ① 労働時間

我が国の2023（令和5）年の月間総実労働時間は136.3時間と2018（平成30）年と比較して、5.9時間短くなっています。

本県の2023（令和5）年の月間総実労働時間は138.5時間と全国よりも2.2時間長くなっています。

図表－35 月間総実労働時間の推移

|      | 平成30年    | 令和元年     | 令和2年     | 令和3年     | 令和4年     | 令和5年     |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 鹿児島県 | 146.0 時間 | 144.9 時間 | 141.9 時間 | 139.9 時間 | 136.6 時間 | 138.5 時間 |
| 全国   | 142.2 時間 | 139.1 時間 | 135.1 時間 | 136.1 時間 | 136.1 時間 | 136.3 時間 |

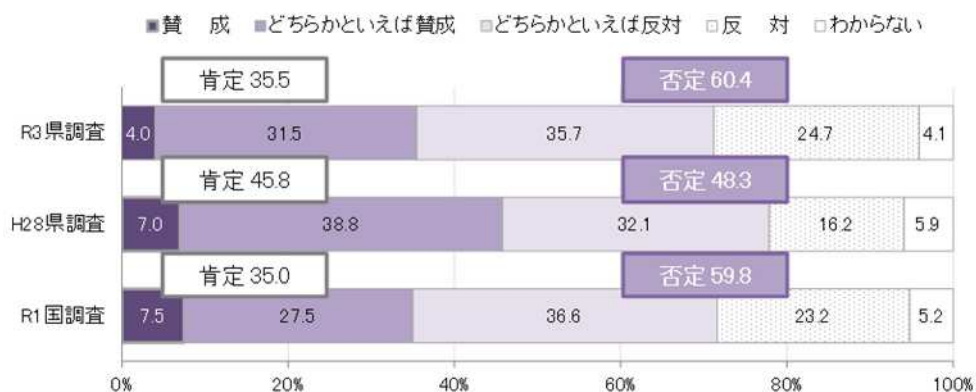
資料：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

※事業所規模5人以上の事業所における常用労働者1人平均月間総労働時間

## ② 固定的な性別役割分担意識の変化

令和3年度に実施した県民意識調査によると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的な性別役割分担については、前回（平成28年度）と比較して否定する割合が増加し、「否定」と「肯定」の差が大きく開きました。また、令和3年度初めて、男性でも「否定」が「肯定」を上回り、ここ数年で意識の大きな変化が見られます。

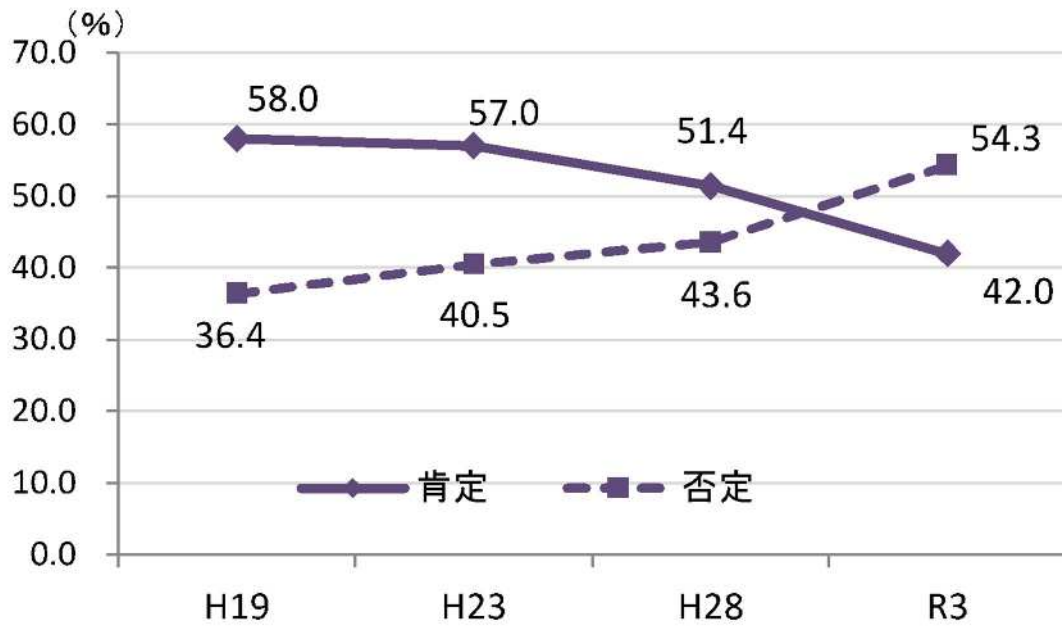
図表－36 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方（本県、全国）



資料：男女共同参画室「男女共同参画に関する県民意識調査」

内閣府「令和元年度男女共同参画に関する世論調査」

図表- 37 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方の推移（本県、男性）



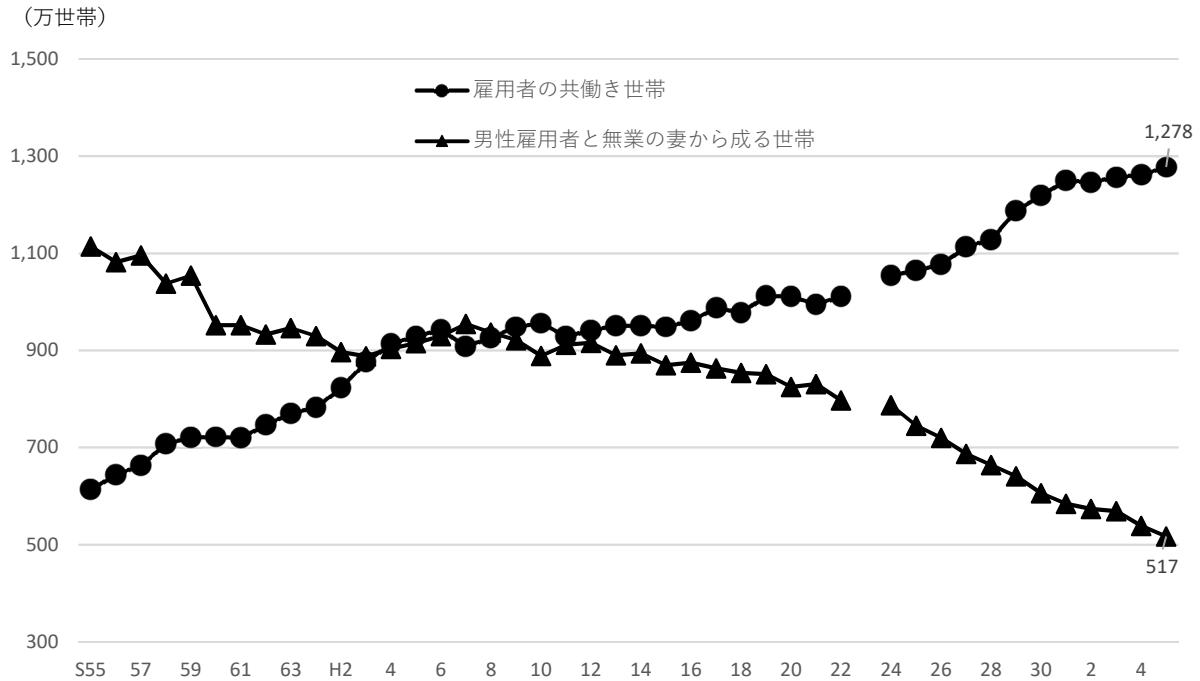
資料：男女共同参画室「男女共同参画に関する県民意識調査」（各年）

### ③ 共働き世帯の増加

1980（昭和55）年以降、我が国では、夫婦共に雇用者の共働き世帯が年々増加し、1997（平成9）年以降は共働き世帯数が男性雇用者と無業の妻から成る世帯数を上回っており、特に2012（平成24）年頃からその差は急速に拡大しています。

2023（令和5）年は、雇用者の共働き世帯が1,278万世帯、男性雇用者と無業の妻から成る世帯が517万世帯となっています。

図表－38 共働き等世帯数の推移



資料：昭和55年から平成13年までは総務庁「労働力調査特別調査」、平成14年以降は総務省「労働力調査（詳細集計）」より作成。「労働力調査特別調査」と「労働力調査（詳細集計）」とでは、調査方法、調査付き等が相違することから、時系列比較には注意を要する。